

# 第1学年 国語科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

単元名		単元内容
1 学 期	はるが きた	■絵を見て話したり応答したりする。
	おはなし ききたいな	■読み聞かせを聞いて、感想を発表する。
	なんて いおうかな	■場面に応じた言葉や動作を考えて、伝え合う。
	かく こと たのしいな	■正しい姿勢や鉛筆の持ち方を意識して書く。
	どうぞ よろしく	■名前カードを使って友達と交流する。
	こんな もの みつけたよ	■見つけたものや思ったことを友達に紹介する。
	うたにあわせて あいうえお	■音読する。 ■正しい筆順で文字を書く。
	こえに だして よもう	■詩を音読する。 ■想像を広げながら詩を読む。
	よく きいて はなそう	■応答したり、感想を伝えたりする。
	ことばを さがそう	■言葉集めをする。
	はなの みち	■想像を広げながら物語を読む。 ■物語の音読をする。
	としょかんへ いこう	■学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。
	かきと かぎ	■濁音を含む単語を書く。
	ぶんをつくろう	■主語と述語を意識して文を書く。
	ねこと ねっこ	■促音や半濁音のある言葉を使って文を書く。
	わけを はなそう	■自分の考えとそのわけを話す。
	おばさんと おばあさん	■長音のある言葉を使って文を書く。
	あいうえおで あそぼう	■言葉選び歌を楽しむ。
	つぼみ	■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。
	おもちゃと おもちゃ	■拗音のある言葉を使って文を作る。
おおきな かぶ	■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。	
はをへを つかおう	■助詞「は」「を」「へ」を使って文を書く。	
すきな こと、 なあに	■「好きなこと」を紹介する。	
おむすび ころりん	■昔話を音読したり演じたりする。	
こんな ことが あったよ	■出来事や経験を報告する文章を書く。	
としょかんと なかよし	■図書館に行き、好きな本を選んで読書に親しむ。	
2 学 期	やくそく	■お話を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。
	かたかなを みつけよう	■身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて、読んだり書いたりする。
	うみの かくれんぼ	■説明する文章を読み、分かったことを伝える。
	かずと かんじ	■数え歌を書く。
	くじらぐも	■読んで想像したことを伝え合う。
	まちがいを なおそう	■正しい表記で文章を書く。
	しらせたいな、見せたいな	■見つけたことを記録して伝える。
	かん字の はなし	■漢字を使った短文クイズを作る。
	ことばを たのしもう	■詩や早口言葉を楽しむ。
	じどう車くらべ	■事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。
	じどう車ずかんをつくろう	■「じどう車しょうかいカード」を書く。
	かたかなを かこう	■片仮名の言葉を集める。
	どんな おはなしが できるかな	■友達と話したことを基にして物語を作る。
	たぬきの 糸車	■物語の好きなところを見つけて、そのわけを話し合う。
	日つけと よう日	■唱え歌を作る。
	てがみで しらせよう	■伝えたいことを手紙に書く。
	むかしばなしを よもう おかゆのおなべ	■昔話の読み聞かせを聞く。
3 学 期	なりきって よもう	■詩を音読する。
	くわしく きこう	■紹介を聞いて、質疑応答する。
	ことばで あそぼう	■言葉遊びを楽しむ。
	どうぶつの 赤ちゃん	■書かれていることを比べて読む。
	ものの 名まえ	■尋ねたり、応答したりする。
	わらしべちょうじゃ	■昔話の読み聞かせを聞く。
	かたかなの かたち	■片仮名の言葉を使って文を書く。
	ことばあそびをつくろう	■言葉遊びを作る。
	これは、なんでしょう	■二人で相談し、考えをまとめる。
	ずうっと、ずっと、大すきだよ	■読んで感じたことを伝え合う。
	にて いる かん字	■似ている漢字を使って文を書く。
いいこと いっぱい、一年生	■経験したことを報告する文章を書く。	
年間	書写	硬筆展に向けての取り組み そら文字 姿勢 鉛筆の持ち方 書き順 とめ、はね、はらい、そり、まがり、おれ、 フェルトペンで書き初め

## 第1学年及び第2学年の目標

知識及び技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## 通知表「はげみ」 評価の観点

知識・技能	言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、日本の言語文化に関する知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	順序立てて考える力や想像する力、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさに気付き、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

## 評価方法

<p>テスト          (基準90%以上…よくできる 70%以上～90%未満…できる 70%未満…がんばろう)          ノート・ワークシートへの記述 硬筆 書きぞめ          作文・観察文          授業態度 発表内容 スピーチ 話し合い活動          記録、説明、報告、紹介、感想などの言語活動          提出物</p>
--

## 国語科の力を伸ばすために

<p><b>【おんどく】</b>          ○たのしみながら、おおきなこえでよめるようにしましょう。          ○くとうてん(「、」や「。」)に気をつけて、すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。          ○まいにち、つづけてれんしゅうしましょう。</p> <p><b>【かくこと】</b>          ○正しいしせいで、ていねいにゆっくりかきましょう。          ○ひらがな・カタカナ・かん字を、正しいかきじゅん・かたち・おくりがなでかけるように、ていねいにれんしゅうしましょう。          ○こくごのきょうかしょのぶんを、正しく、はやくかきうつせるようにれんしゅうしましょう。</p>
---

# 第1学年算数科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

	単元名	単元内容
1 学期	1 なかまづくりとかず	10までの数について、個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解する。
	2 なんばんめ	数を用いた順序の表し方を理解する。
	3 あわせていくつ ふえるといくつ	加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を理解する。
	4 のこりはいくつ ちがいはいくつ	減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を理解する。
	5 どちらがながい	長さや測定についての基礎的な意味を理解する。
2 学期	6 わかりやすく せりりしよう	ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解する。
	7 10より おおいき かず	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解する。
	8 なんじ なんじはん	何時、何時半の時刻の読み方を理解する。
	9 3つの かずの けいさん	3つの数の加減計算の仕方を理解する。
	10 どちらが おおい	体積とその測定についての基礎的な意味を理解する。
	11 たしざん	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解する。
	12 かたちあそび	立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養う。
13 ひきざん	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解する。	
3 学期	14 おおいき かず	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解する。
	15 どちらが ひろい	面積とその測定についての基礎的な意味を理解する。
	16 なんじなんぷん	何時何分の時刻の読み方を理解する。
	17 たしざんと ひきざん	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解する。
	18 かたちづくり	平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養う。

### 第1学年の目標

知識及び技能	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにおける量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにおけるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力を養う。
学びに向かう力、人間性等	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

### 通知表「はげみ」 評価の観点

知識・技能	数量や図形などの性質を理解し、正確に計算したり表やグラフに表したりするなどの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	問題に対して、見通しをもち筋道立てて考えたり解決の過程や結果を多面的に考察したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさに気づき、粘り強く考えるとともに、生活や学習に活用しようとしている。

### 評価方法

テスト（基準90%以上…よくできる 70%以上～90%未満…できる 70%未満…がんばろう）  
 ノート・ワークシートへの記述  
 発表内容  
 授業態度  
 提出物 等

### 算数科の力を伸ばすために

- かずのよみかた・かきかたをれんしゅうしましょう。
- まずは、ゆっくり正しくけいさんできるようにしましょう。
- 正しくけいさんできるようになったら、すこしずつはやくできるようにれんしゅうしましょう。
- ◆たしざん・ひきざんのれんしゅうをしましょう。

# 第1学年 生活科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

生活科 教科の目標	
知識及び技能の基礎	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	身近な人々、社会及び自然を自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

	単元名	単元内容
1 学期	どきどき わくわく 1ねんせい	学校の施設の使い方や友達のよさに気づくとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感できるようにする。
	がっこう だいすき	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
	はなを さかせよう	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとするようにする。
	なつが やってきた	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分たちの生活を楽しくしようとするようにする。
2 学期	いきものと なかよし	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができるようにする。
	たのしいあき いっぱい	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとするようにする。
	じぶんで できるよ	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするようにする。
3 学期	ふゆを たのしもう	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとするようにする。
	もうすぐ 2ねんせい	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするようにする。

通知表「はげみ」 評価の観点	
知識・技能	身近な人々、地域及び自然の特徴やよさに気づき、生活上に必要な習慣や技能を身に付けている。
思考、判断、表現	身近な人々、地域及び自然と自分の生活との関わりについて考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	身近な人々、地域及び自然について関心をもって学習し、自分の生活に生かそうとしている。

評価方法
ワークシート 発表 制作物 発言 行動

# 第1学年 音楽科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

第1学年及び第2学年の目標	
知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

	単元名	単元内容	教材
1 学期	1. うたって おどって なかよくなるう	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなでいっしょに うたって、ともだちをつくる。</li> <li>ともだちと いっしょに おどる。</li> <li>みんなで あそびながら たのしく うたう</li> </ul>	どみそらんど セブン ステップス チェッ チェッ コリ ひらいた ひらいた
	2. はくを かんじとろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>おんがくに あわせて からだを うごかす。</li> <li>[たんたん   たん(うん)] のリズムを うつ。</li> <li>[たんたん   たん(うん)] のリズムで あそぶ。</li> <li>うたに あわせてリズムを うつ。</li> </ul>	さんぼ じゃんけんぼん みんなであそぼう
	3. はくに のって リズムを うとう	<ul style="list-style-type: none"> <li>おんがくに あわせて リズムを うちながら きく。</li> <li>かたつむりによびかけるような きもちで うたう。</li> <li>たんと たたの ちがいに きづいてリズムを うつ。</li> <li>たんと たたをつかて ことばでリズムをつくる。</li> </ul>	しろくまの ジェンカ かたつむり ぶんぶんぶん うみ
	4. みの まわりの おとに みみを すまそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>みつけた おとで よびかけあう。</li> </ul>	
2 学期	5. どれみと なかよくなるう	<ul style="list-style-type: none"> <li>けんぱんハーモニカと なかよくなる。</li> <li>けんぱんハーモニカで いろいろな おとを みつける。</li> <li>どと その ばしよを みつける。</li> <li>どれみの ばしよを おぼえる。</li> <li>どれみふあそびの ばしよを おぼえる。</li> <li>おとの たかさに きをつけながら うたう。</li> </ul>	みつばちハニーの ぼうけん どんぐりさんのおうち なかよし ひのまる
	6. せんりつで よびかけあおう	<ul style="list-style-type: none"> <li>たがいの こえを ききながら よびかけあう うたう。</li> <li>せんりつをつなげて あそぶ。</li> <li>せんりつが よびかけあう おもしろさを かんじながら きく。</li> </ul>	やまびこ ごっこ まねっこあそび せんりつ まねっこ こうしんきょく
	7. がっきと なかよくなるう	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな おとを みつけて ならす。</li> <li>きに いった おとを みつけて うたと いっしょに ならす。</li> <li>みみを すまして がっきのおとを きく。</li> </ul>	おとさがし さがしてみよう ならしてみよう シンコペーテッド クロック
	8. ようすを おもいうかべよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほしぞらの ようすを おもいうかべながら、うたったり えんそうしたりする。</li> <li>にんぎょうの ようすを おもいうかべながら、きく。</li> <li>かしから ようすを おもいうかべて うたう。</li> </ul>	きらきらほし にんぎょうのゆめとめざめ はる なつ あき ぶん
3 学期	9. にほんの うたを たのしもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>わらべうたを きいたり うたったり して あそぶ。</li> <li>ともだちと いっしょに あそびながら うたう。</li> </ul>	さんちゃんが / おおなみ こな み おちゃらか ほしい
	10. みんなで あわせて たのしもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>たがいの うたごえを ききあいながら うたう。</li> <li>うたごえと がっきのおとを あわせて えんそうする。</li> <li>たがいの がっきのおとを ききあいながら えんそうする。</li> <li>がっそうの たのしさを かんじとって きく。</li> </ul>	あいあい とんくるりん ばんくるりん こいぬの マーチ クシコスポスト

## 通知表「はげみ」 評価の観点

知識・技能	曲想と音楽の仕組みの関わりに気付き、表現するために必要な技能を身に付け、歌ったり演奏したりしている。
思考・判断・表現	音楽表現に思いや考えをもつとともに、曲や演奏の楽しさを見つけて、音楽を味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽に親しみ、友達と協働しながら、楽しく活動しようとしている。

## 評価方法

歌唱・演奏の実技 ワークシートの記述内容 発言 授業態度

# 第1学年 図画工作科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

第1学年及び第2学年の目標	
知識及び技能	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

題材の内容			
	1学期	2学期	3学期
造形遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねんどとなかよし</li> <li>ならべてみつけて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンプぺたん</li> <li>だいすき！わくわくペーパー</li> </ul>	
絵	<ul style="list-style-type: none"> <li>すきなもの いっぱい</li> <li>さわってまげてきもちいい</li> <li>すいすいぐるーり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こすりだしから うまれたよ</li> <li>ふわっとぎゅっと おはながみのえ</li> <li>おしらせします！ にっこりニュース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できたらいいな こんなこと</li> </ul>
立体	<ul style="list-style-type: none"> <li>すきなもの いろいろあるね</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろんなともだち はなしだす</li> <li>くしゃくしゃ だいへんしん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はことはこを くみあわせて</li> </ul>
工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>チョッキンパツでかざろう</li> <li>ひかりのくにのなかまたち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あそぼうよ パクパクさん</li> <li>うきうきボックス</li> <li>ふわっふわっゴー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくってへんしん</li> <li>ようこそ あたらしい1ねんせい</li> </ul>
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>おしえて みんなのすきなもの</li> </ul>		

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
扱う材料	画用紙、色紙、木の葉、小枝、木の実、新聞紙、段ボール、包装紙、カップ、縄やひも、空き箱、皿、水、ビニル袋、ストロー、身近な材料など	(1・2学年に加えて) 木材、木切れ、板材、紙粘土、段ボール、ビー玉など	(3・4学年に加えて) 厚みのある板材、針金、広い布、ガラス玉など
扱う用具	カラーペン、クレヨン、パス、水彩絵の具、はさみ、のり、セロハンテープ、ホチキス、カッター ローラーなど	(1・2学年に加えて) のこぎり、釘、金づち、彫刻刀、インク、ビー玉、釘抜き、紙やすりなど	(3・4学年に加えて) コンテ、墨、糸のこぎり など

通知表「はげみ」 評価の観点	
知識・技能	自分の感覚を通して、材料や用具を活用するとともに、表し方を工夫してつくっている。
思考・判断・表現	造形的なよさや表し方について考えるとともに、身近な作品から自分の見方や感じ方を広げている。
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりしようとしている。

評価方法
作品 ワークシートへの記入 材料集め 準備・片付け 行動観察

学年別主題配列一覧表

【第1学年】

朝霞市立朝霞第七小学校

時数	学期	月	週	主題名	内容項目	教材名<出典>
①	1 学期	4 月	適宜	どうとくが はじまるよ		どうとくが はじまるよ 〈きみがいちばんひかるとき〉
②			3	がっこう だいすき	C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実	がっこう だいすき 〈きみがいちばんひかるとき〉
③			4	きもちの よい せいかつ	A (3) 節度、節制	きもちの よい せいかつ 〈きみがいちばんひかるとき〉
④			2	あかるい あいさつ	B (8) 礼儀	あかるい あいさつ 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑤		5 月	3	なかよくね	B (9) 友情、信頼	なかよくね 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑥			4	よいことと わるいこと	A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	よいことと わるいこと 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑦			6 月	1	じぶんの いいところ	A (4) 個性の伸長
⑧		2		いきているって いいな	D (17) 生命の尊さ	みんな いきてる 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑨		3		したいことが あるときは	A (3) 節度、節制	かぼちゃの つる 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑩		4		きまりを まもる	C (10) 規則の尊重	どうして こう なるのかな 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑪		7 月	1	しょうじきな ところで	A (2) 正直、誠実	きんの おの 〈きみがいちばんひかるとき〉
⑫	2		かぞく だいすき	C (13) 家族愛、家庭生活の充実	かぞくとおはなし 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑬	8・ 9 月	1	しぜんと なかよく	D (18) 自然愛護	あさがお 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑭		2	いきているから できること	D (17) 生命の尊さ	いきて いるって 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑮		3	おせわになって いるひとに	B (7) 感謝	ありがとうが いっぱい 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑯		4	やさしい きもちで	B (6) 親切、思いやり	やさしい ひと、 みつけた 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑰	10 月	1	すきか きらいかでなく	C (11) 公正、公平、社会正義	あしたは えんそく 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑱		2	よくないと おもったら	A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	ほんたと かんた 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑲		3	がっこうで たのしく	C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実	とりかえっこ 〈きみがいちばんひかるとき〉	
⑳		4	がんばって はたらく	C (12) 勤労、公共の精神	きゅうしょくとうばん 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉑	11 月	1	あいさつを きちんと	B (8) 礼儀	わすれていること、なあい 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉒		2	じぶんのしごとを しっかりと	A (5) 希望と勇気、努力と強い意志	おふろそうじ 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉓		3	ともだちのことを かんがえて	B (9) 友情、信頼	二わの ことり 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉔		4	うつくしい ところ	D (19) 感動、畏敬の念	ひしゃくほし 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉕	12 月	1	せかいの こどもたちとともに	C (16) 国際理解、国際親善	せかいの こどもたち 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉖		2	かぞくの ために	C (13) 家族愛、家庭生活の充実	これなら できる 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉗	1 月	2	にほんの よいところ	C (15) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	にほんの あそび 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉘		3	しんせつに すると	B (6) 親切、思いやり	はしの うえの おおかみ 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉙		4	だれに たいしても	C (11) 公正、公平、社会正義	ジャングルジム 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉚		2 月	1	みんなで つかうときには	C (10) 規則の尊重	みんなで つかうものや ばしょ 〈きみがいちばんひかるとき〉
㉛	2		のびのびと せいかつするために	A (2) 正直、誠実	なわとびカード 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉜	3		すきなことを みつけよう	A (4) 個性の伸長	「すき」から生まれた「そらめくくん」 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉝	4		がんばって つづける	A (5) 希望と勇気、努力と強い意志	やれば できるんだ 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉞	3 月	1	おおきく そだって	D (17) 生命の尊さ	ちいさな ふとん 〈きみがいちばんひかるとき〉	
㉟		2	ありがとうの きもち	B (7) 感謝	みんな みんな、 ありがとう 〈きみがいちばんひかるとき〉	